

# 郡山市環境審議会 会議録

【会議名】 令和7年度第3回郡山市環境審議会（書面審議）

【日時】 令和8年1月16日（金）から令和8年1月23日（金）まで

【出席者】 難波謙二会長、會田久仁子副会長、市岡綾子委員、岡崎一博委員、小野容子委員、菅野千恵子委員、五味馨委員、鈴木祐介委員、添田ゆかり委員、橋本健委員、藤田美香委員、古谷博秀委員、湯浅大郎委員、湯田輝彦委員、渡辺則子委員（15名）

## 【議案】

議案第1号 郡山市第五次環境基本計画素案について

## 【資料】

議案第1号関係

- ・資料1 郡山市第五次環境基本計画素案 …… 審議資料
- ・資料2 郡山市第五次環境基本計画 施策・指標一覧 …… 参考資料

## 【会議内容】

### 1 開 会

令和7年度第3回郡山市環境審議会は「郡山市環境審議会書面審議実施要綱」に基づき、書面審議により開催した。

委員15名全員が出席し、郡山市環境審議会条例第5条第2項に規定する、委員の過半数の出席があるため、この審議会は成立している。

### 2 議 事

議案第1号関係 郡山市第五次環境基本計画素案について

賛成15人

提案された議案については、委員の全会一致で承認された。

## 【委員からの意見】

・難波謙二会長

P53（1-2-2 想定される影響に対する施策の推進）

「○」のあとの記述（施策名）が「分野」で書かれていて分かりづらい。

他では「何をするのか」が書かれている。ここは、そのようにまとめるのが難しいかもしれませんが。

P54（第4章柱1の指標をまとめた表）など

表題として「～の目標値」を入れてはどうでしょうか。

・會田久仁子副会長

計画案作成、おつかれさまでございます。

基本計画指標一覧で。

柱1 1-2に新しく「ふくしま涼み処の登録施設数」が計画されました。2026年も大変な猛暑が予測されているようです。現況の180か所が230か所目標となり、1.27倍の施設が見込まれています。市民の快適な生活のために喜ばしいことと評価します。

重点指標である柱2 2-1ごみの排出量については、会議のたびに話題に上がることであり、また市民の身近な問題でもありますので、どうかこれが目標値に近づけることができよう、具体的な施策を期待します。

よろしく申し上げます。

・市岡綾子委員

(意見なし)

・岡崎一博委員

語句の統一や表記等について、不整合がないように確認願います。

- P. 17、23ほか 表中の数値、小数点、桁表記を揃えてはどうか？
- 及び、当たりは、漢字に統一、その他、文章中の語句の再確認
  - %や( )は、全角に統一か？
- 西暦(和暦○)年に統一し、(HO)や(RO)は使用しない。
- ページの区切りを考慮する、P. 70、73、74など ほかも多数あり
- 図中の軸、数値の見やすさを再確認、文字が小さいなど
- P. 39 【重点項目】 ①の書き出し位置 など

・小野容子委員

目標値は2029年度の最終的な目標値しか記載がありませんでしたが、2029年までの各年度での目標値は今後設置されるのでしょうか？

最終的な目標値は2029年度としても、それまでの中長期の目標値がどのように推移されるのか？また、その推移を設定した根拠の活動内容などについても説明があると更に理解が深まると思われれます。

・菅野千恵子委員

(意見なし)

・五味馨委員

(意見なし)

・鈴木祐介委員  
(意見なし)

・添田ゆかり委員  
(意見なし)

・橋本健委員  
(意見なし)

・藤田美香委員  
(意見なし)

・古谷博秀委員  
(意見なし)

・湯浅大郎委員

第四次環境基本計画までに示された内容と目標の達成状況を踏まえて、全体によくまとまっていると思えました。略語や専門用語に脚注が付いているところもよかったですし、昨年のトピックである猪苗代湖のラムサール条約登録に随所で触れている点もよかったです。今回のラムサール登録を契機として、今後、猪苗代湖の環境保護政策の目標としての具体的な数値目標（BOD等）を盛り込むことができればさらによくなると思います。

内容についての意見は以上ですが、素案のうち、特に第1章の文章が長文で文節や句読点の区切りも不適切であるため、一読では理解しにくいことが気になりました。多くの方が手に取るものですので、以下について文章を分けるとか、簡潔にするなどの検討をお願いします。

【2ページ3段落目4行目最後～】

「そして、2021（令和3）年には、気候変動による影響に備え、・・・エネルギー施策の一元的かつ効果的な推進を目指しています。」←長文過ぎて、主述関係が分かりにくい。

【4ページ「②気候変動」の2段落目3行目～】

「2018（平成30）年には、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）を目指す地球温暖化対策と両輪となる、気候変動の影響被害を軽減し、よりよい生活ができるようにすること（適応）を推進することを目的とした「気候変動適応計画」も閣議決定されました。」

←赤部分を挿入してみてはいかがでしょうか。

(4) 生活環境の保全と改善について

自動車業界に携わる者として一言ご意見申し上げます。

「環境負荷の少ない次世代自動車の普及、公共交通機関の利用促進など自動車からの有害化学物質の排出抑制対策・・・」

業界として水素、電気、ハイブリット等選択肢があり、先ずは 2030 年に向けて迷うところであり、行先不透明とも言えます。

公共交通機関について、いまだに黒い排気ガスを出して走るバス等、市中では目にします。最近の新車については、排気ガス対策は、十分に行われており、問題は古い車を走らせていることが、有害物質をまき散らす原因となっていると考えます。

公共機関の車両、公共施設で使用している車両等は、大丈夫でしょうか。予算などの問題もありますが、国、県、市をあげて対策に乗り出さなければ解決出来ないのでは無いでしょうか。

・湯田輝彦委員

内容的には特にございません。

ただ、第1章1の(1)「計画の経緯」は読みにくい。年号の羅列は理解を遠ざけるので、郡山市、国、世界の動きを年表で示していただければ環境問題への理解を助けてくれるように感じる。

文章内に写真や郡山市のイメージキャラクターのイラストなどを差し込むことで可能か。1の(2)「役割・位置付け」以降はグラフや写真がふんだんに使用されていて良い。

コラムは項目の理解を助けるツールとしてとても有効に感じる。

・渡辺則子委員

(意見なし)